

ジャンル/小説

Novelist



藤井 重夫

FUJII Shigeo

代表作

『不二井滋詩集「アルバム」』 (1936年)
 『悲風ビルマ戦線』 (1956年)
 『佳人』 (1957年)
 『風紋』 (1958年)
 『夜の獵人』 (1960年)
 『誰かと誰かが』 (1963年)
 『終わりなき鎮魂歌』 (1965年)
 『虹』 (1965年)
 『おない年』 (1966年)
 『静歌』 (1972年)

ほか多数

※映像化されたものを含む

活動略歴

1916年 兵庫県豊岡市生まれ。
 1934年 『若草』など誌に詩、俳句、戯曲、小説を次々に発表。
 1943年 陸軍報道班員としてフィリピン、マレー、ジャワ、ビルマへ従軍。
 1945年 朝日新聞宇治山田支局員となる。朝日新聞大阪本社学芸部へ転勤。
この時期から小谷剛氏主宰の名古屋を本拠地とした同人誌「作家」に参加。
 1951年 『佳人』で第26回芥川賞候補。(『作家』1951年11月号)
 1964年 「作家賞」選考委員を務める。(1971年まで)
 1965年 『虹』で第53回直木賞を受賞。(『作家』1965年4月号のち『オール讀物』発表)
 1979年 世田谷にて死去。

参考・出展元/ネットミュージアム兵庫文学館

<https://www.artm.pref.hyogo.jp/bungaku/jousetsu/authors/a362/>

FUJII Shigeo (1916 - 1979/ Genre ; Classic literature, Essayist)

He lived in the war zone as a correspondent for a newspaper and was in charge of the newspaper's pages as a reporter.

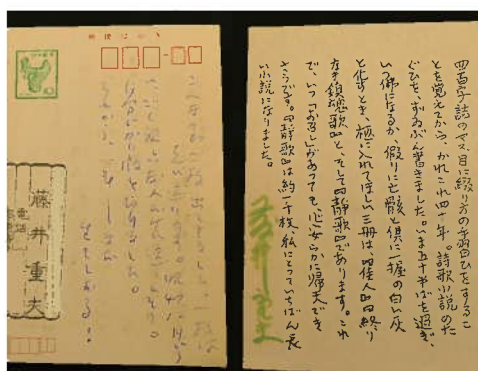
He became a member of the Nagoya the self-published magazine "Sakka (novelist)" and published novels. During that time, one of his novels was shortlisted for the Akutagawa Prize in 1951 and won the Naoki Prize in 1965.

ジャンル / 小説

Novelist

名古屋市収蔵の資料
／藤井重夫

(一部掲載；収蔵先 文化のみち二葉館)

Collection related to Fujii Shigeo in Nagoya City.
Storage location: Cultural Path Futaba Museum,
City of Nagoya.← 寄贈主への小包状態のまま保存。
藤井重夫直筆の手紙が添えられていた。↑「昭和47」に親しい人にだけ出したガリ版刷り
葉書が2枚出て来たので1枚送ります」表にあり、
裏には柙に入れて欲しい自著3冊のタイトル。↑ 同人誌「紅」101号、106号。発行元の「紫紅
会」というのは札幌にある岩田醸造で、左の
手紙に原稿料代わりに味噌を送ってもらえる
ということが記されている。← 週刊ゲンダイに掲載されたのち兵庫県の「つたや
旅館」が1981年に配布。つたや旅館主人と藤井氏
は同窓で、藤井氏の早逝を悼み刊行したもの。
つたや旅館前に設けられた藤井氏の文学碑が掲載
されている。上記資料の閲覧を希望される方は、[文化芸術推進課](#)または[文化のみち二葉館](#)までお問い合わせください。
なお、学術研究または教育普及目的の場合にのみ閲覧が可能で、所定の手続きが必要です。